



教育研究所としてスタートした旧庄内小学校



森田増範議員

### 旧庄内小・旧光徳小の活用

#### 当面は現在の計画

**問** 名和小学校の東校舎（旧光徳小）・西校舎（旧庄内小）の利活用について、すでに施政方針等で説明しているが、東校舎は、地域活性化を考えた時、海も近く保育所も隣接しており、教育財産と地区コミュニティセン

ターとする。

また西校舎は、立地条件や潜在的に魅力と多様な利活用の可能性があり、大山恵みの里づくり拠点として、雇用・交流・産業推進などの活力ある地域振興へつなげることが望ましいのではないかと考える。

**答**（山口町長）

東校舎・西校舎の活用は、教育財産として管理している教育委員会の意見を聞いて、当面の利用を考えている。

西校舎は、教育支援センター、文化財の整理展示室、教育研究所等として活用の準備を進めている。

東校舎は、光徳地区コミュニティセンターや大山恵みの里づくりの拠点の場として、事務局設置や農産加工施設の活用構想を持っている。

どちらにしても、それぞれ利点や課題はあり、当面は現在検討して進めている方向で利活用し、必要に応じて利用方法の再検討も加え柔軟な対応をしていきたい。



近藤大介議員

### インター近くに宅地整備

#### 民間の開発を支援

**問** 平成20年春に山陰道名和淀江道路が開通し、大山インター、名和インター付近から米子への通動アクセスが格段に向上する。

感じる。厳しい財政状況の中、現時点では町主体の事業化は難しいが、町有地を利用した集合住宅の建設は計画したいと考えている。

インター近隣に新たに住宅団地を整備し、定住促進を図ってはどうか。あわせて、新築住宅への固定資産税に独自の優遇策を設け、新規住宅着工を促進できないか。

また、民間の資金と経営能力・技術力、販売ノウハウを期待し、民間での開発を誘致できれば町としても可能な支援を行い、町の活性化・定住化につなげていきたい。

**答**（山口町長）

利便性の高いインター付近に住宅団地を造成することには大きな魅力を

固定資産税の優遇策については、地方税法の枠を超える措置をとることは考えていない。



岩井美保子議員

### 喫煙室の設置

#### 簡便な防寒対策で

135万円アップの予算額である。

一方では納税者である。喫煙室の設置を求める。

**答**（山口町長）

平成15年5月1日に受動喫煙防止法が施行され、

現在の場所に決定した経緯がある。現状では財政状況も考慮し新たに喫煙室を整備する考えはないが、簡便な防寒対策を検討する。